

科目名	キャリアアップセミナーA							年度	2026
英語科目名	Career up seminar A							学期	通年
学科・学年	スポーツトレーナー科 1 年次	必／選	選※	時間数	15	単位数	0	種別※	実技
担当教員	各セミナー担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		各業界での職業人		
【科目の目的】 認定ストレッチングトレーナー・パートナー、キネシオテーピング、コンプレフロス、認定コンディショニングインストラクターなどの短期集中講座を 1 つ受講し、様々な資格の取得や特殊な技術の取得を目的とします。また資格や技術の習得をすることで就職やスポーツトレーナー、スポーツ指導者として、活動や活躍の幅を広げる事も目的の一つです。									
【科目の概要】 キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。									
【到達目標】 「仕事に就く」「人の体を扱う」「指導する」ことを見据え、資格や特殊技術を取得することで個々のレベルアップを狙います。また、資格を取得することで就職、各種実習などの選択の幅を広げ、個人が活躍するためのキャリアアップにつなげます。 A. 基礎理論B. 基礎技術C. 応用力									
【授業の注意点】 一回の欠席でも資格取得は不可能になります。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにしてください。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 もう少し		
到達目標 A	理論を十分に理解し、覚え、試験合格		理論を理解し、覚え、試験合格				理論を理解し、概ね覚え、試験合格		
到達目標 B	基礎技術がしっかり身に付き、試験に合格		基礎技術が概ね身に付き、試験に合格				基礎技術が分かり、試験に合格		
到達目標 C	実際に活用する事を想定でき、基礎理論・技術を応用的に展開できる		実際に活用する事を少しは想定でき、基礎理論・技術を応用的に展開できる				実際に活用する事を少しは想定でき、セミナー内容を実施できる		
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 テキスト									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 テスト（実技または理論、両方）									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアアップセミナーA				年度	2026
英語表記		Career up seminar A				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	セミナーにより内容は異なる	セミナーにより内容は異なる	1	セミナーにより内容は異なる（ストレッチ・キネシオテーピング・幼児体育・コンディショニング・フットセラピー等）	理論・実技	2	
2						2	
3						2	
4						2	
5						2	
6						2	
7						2	
8						2	
9						2	
10						2	
11						2	
12						2	
13						2	
14						2	
15						2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等